



「探究」にフォーカスした 社会と繋がる教育



2024年度 実施効果報告レポート

【事業者名】
株式会社Study Valley

【サービス名】
①Time Tact

【支援項目】
①授業/授業準備/生徒指導(個別)

2025年1月

課題の設定からまとめ・表現までのプロセスを全て網羅したプラットフォームであるTimeTactと、
企業課題をコンテンツとして掲載し社会とのつながりを提供

TimeTact × 企業課題



探究学習プラットフォーム

探究学習特化型の学習管理・授業支援ツール
生徒の自発的な学習を促進
先生の授業実施の効率化も支援



探究学習特化型の学習管理・授業支援ツール
生徒の自発的な学習を促進
先生の授業実施の効率化も支援

教職員・生徒のそれぞれで、探究を進める上で抱える課題に対してサポートを実施

- 教職員は、指導経験不足（答えのない課題を教えたことがない）
- 学習管理も煩雑

- 議論や調査内容など取組んだ記録が散乱し、生徒自身がまとめや振り返りがしづらい

- 「生きた社会課題」の提供不足
- 教科書で社会課題への取り組みが困難

業務負荷の低減

- 年間のカリキュラム計画や各授業での実施内容をツール上で作成、ワンクリックで確認可能
- 生徒の授業理解度・学習内容や、探究プロセスの進捗状況などもツール上で一括管理

学習方法の支援

- 紙や様々なソフトデータなどで生徒の学習記録が散乱している状態から、ツール上で一貫した探究プロセスの実施
- グループ協議ツールなど、探究プロセスに必要な機能を提供

社会との接続

- 社会における答えのない問いを実体験するため、企業が目の当たりにしている生きた課題を提供
- 企業からのフィードバックや交流機会なども設定し、社会に開かれた学びへ

教育委員会：20団体
学校数：30校(全て高等学校)
生徒数：約12,100人

愛媛県立松山西中等教育学校

TimeTactでの企業プロジェクトに5回の授業で取り組み、6回目に9企業を招いて発表会を行った

<企業の方からアイデアに対するフィードバックを受けることのメリット>

- ・自分たちの考えたアイデアが現実とつながる
→ 地域探究で自分たちでアイデアを考える意欲につながる
- ・企業の方からアイデアに対する改善点のアドバイス
→ 地域探究でアイデアを考える際に気を付けるポイントとして探究の力が養われる

【レポート】松山西中等教育学校5年生、みきゃん探究プロジェクト
を通じ地元企業の課題解決アイデアをプレゼン - Far East Tokyo

<カリキュラム>

回数	4年	5年	テーマ	ねらい・学習活動（個人・グループ）
0	4/24	5/21	オリエンテーション	・年間計画や学習内容を理解する。 ・今後取り組むプロジェクトを決める→先生で集計
1	5/1	5/28	企業活動の概要 情報収集①	活動単位：クラス混合、同じ企業プロジェクトを選択した4人程度のグループ ・学習のゴールと流れを知る ・自己紹介等アイスブレイク ・レクチャー①～③に取り組む ※目安レクチャー①が終わる ※レクチャーの問いや調べたことはTimeTactの調査メモに記録
2	5/8	6/4	情報収集②	・レクチャー①～③に取り組む ※目安レクチャー②、③が終わる
3	5/15		アイデア考案①	・レクチャー④に取り組む ※アイデアはTimeTactの探究成果にまとめる
4	5/22	6/11	アイデア考案② 相互フィードバック アイデア修正、完成	・レクチャー④に取り組む ・まとめた探究成果を生徒同士で見せあいアドバイスをしあう ・アイデアの修正、完成（紙）
5	5/29	6/18	TimeTactに入力 発表練習	・端末にデジタルで清書 ・アドバイスをもとにアイデアを修正し、課題に対する最終的なアイデアとその理由を探究成果にまとめる
6	6/5	7/2	発表会	・企業の方を招いた発表会 ■先生より 実社会ではもっと深く考えている、実現には壁があることを感じさせるアドバイスを 受けることで、今後の活動が引き締まることを期待。



長崎県立諫早高等学校

3 学年にわたり総合的に学校の探究授業に対するサポートを行った

- 1 学年：企業プロジェクトを 7 回の授業で実施。7 回目には企業を招聘しての発表会を開催
- 2 学年：学校の探究授業をTimeTactツールで運用するサポート
- 3 学年：発表を探究ボードでまとめて校内蓄積のサポート

<TimeTactを通じて企業プロジェクトに取り組むメリット>
・生徒たちの学びが大きく、生徒たちにとってはこれまで漠然としていた「働く」ことについての解像度が高まる
→県内企業のお仕事を深く探究し、間近に感じることで、自分たちでアイデアを考える意欲につながるだけでなく、将来への可能性も導き出せる

<カリキュラム>



<探究成果一覧>



<ノート & トーク>

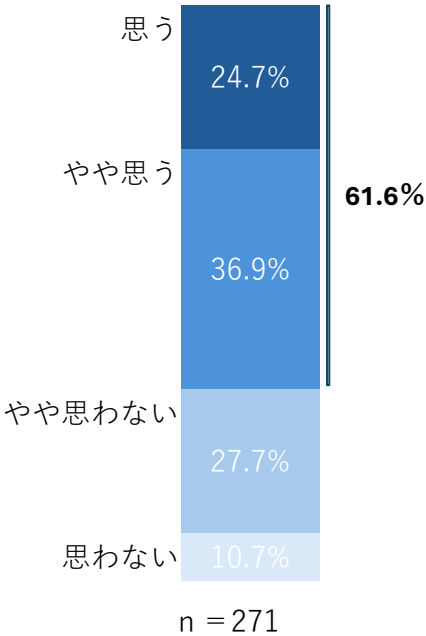


教職員の探究指導での目標達成の授業計画の充実に加え、業務負担の低減にもつながっている

授業準備・実施などの業務負担を低減

アンケート質問

探究授業の準備、実施の業務負担が導入前と比べて、減っていると思いますか？

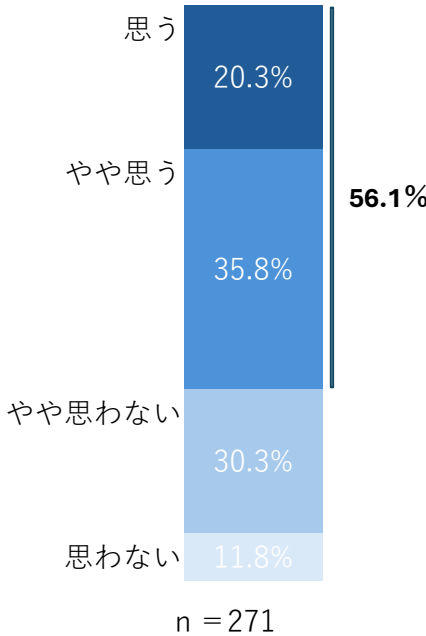


- 導入校からのアンケート結果では、約60%の学校で、TimeTactサービスの導入によって、業務負担の低減が図られた(低減に至らなかったプロダクト要因の解決策は後述)
- TimeTactで一元管理が可能となるため、授業準備が不要、学習状況把握が容易
- 授業内容は、TimeTact教職員ページで、今後の流れや授業の意図等が記載されているため学年全体への申し送りをスムーズに実施可能

達成したい目標にむけての授業計画の充実

アンケート質問

達成したい目標に向けて、授業計画がより充実するようになったと思いますか？



- 導入校からのアンケート結果では、約60%の学校で、TimeTactサービスの導入によって、達成したい目標にむけての授業計画の充実が図られていた(充実に至らなかったプロダクト要因の解決策は後述)
- TimeTactで現在社会にある企業に課題を提供してもらった教材を使用することによって探究学習が深まる
- 出張授業（企業の発表会同席）・企業によるテキストフィードバックによって、高校生が直接企業の意見をもらえる機会によって、授業の質の向上

プロダクト利用説明、探究コンテンツ内容を改善していく

TimeTact操作説明が詳しく欲しい

- ・ 提出物状況の確認の仕方
- ・ 調査記録の検索の仕方 など

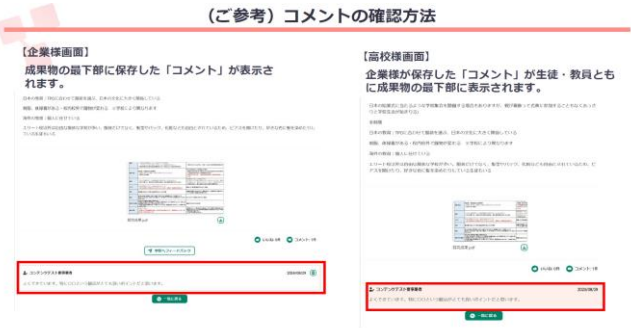
- ・ 活用シーンに合わせて、頻繁に出るシーンをより細かくマニュアル整備
- ・ CSチームと学校で接点を増やし、操作方法を丁寧に伝えられるよう運営



企業コンテンツをより取り組みやすくして欲しい

- ・ 企業プロジェクトの内容に情報がもっとあると良い
- ・ 難易度を生徒レベルにあわせて取り組みたい

- ・ テキストベースではイメージしづらい課題背景の共感を得るため、参考リンクの拡充
- ・ 取り組むコマ数をレベルに合わせて柔軟に増減させて、カリキュラム設計



下記の各問いに関して、どのように考えるべきかステップバイステップでまずは整理する必要があります。タスクブレイクをしてみましょう

- ・ 探究学習とは何か、生徒が取得すべき知識技能にはどのようなものがありますか？ 上記で学んだことや文科省の総合的な学習（探究）学習指導要領を参考に自分の言葉でまとめてください。
- https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.htm

教職員



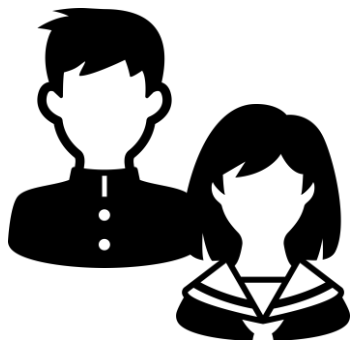
“活動を通じて生徒が自発的に発言できるようになった。これもタイムタクトで鍛えていただいたからと思っています”

“生徒の学びの深まるプログラムの提供心より感謝いたします。今回の学習で生徒へ身に付けさせることのできた、探究の基本スキルをベースに、今後更に発展・深化をさせていくことのできる総合的な探究の時間を創り上げていきます”

“生徒の様子を見ていて一番強く感じたことは、発表に対する不安がなくなったこと、併せて、ずいぶんと人に聴かせる内容を作れるようになったなと感じました”

“本校の環境や先生・生徒の質が大きく変わりました、探究活動に対する自信が教職員に出てきたと思います”

生徒



スキルが身についた

“課題研究の授業では、まだ明らかでない知識を自ら獲得する能力を身に付け、その楽しさを体験しました、思考力や探究心や、普通の授業ではまなべないようなことを学びました”

“普段自分が何に興味を持っていて、どんな発見・発想があるのかなど改めて自分自身を知ることができる良い機会だったと思います。私は人前で話すことが苦手だけど、この授業を通していかに上手く伝えることができるかなどを学びました”

視野が広がった

“私は1年間で周りを見る力が成長したと思います、身近なことから社会的なことについての探究活動を行なったことで視野が広がり、いろんな課題が溢れているということに気がきました”

“同じテーマでもチームによって、課題探究のゴールとしていることが違って興味深かった”

“企業の方に聞いていていただいたおかげで、自分の視点以外の観点からの物事の見方が知れたのが良かった”

探究意欲が高まった

“調査を実際に行うなど、もっと根拠を持って説明したいと思った”

社名

株式会社 Study Valley(スタディバレー)

資本金

185,000,000円(資本準備金含む)

代表者

代表取締役 田中悠樹 (タナカユウキ)

本社

〒134-0083東京都江戸川区中葛西 5-20-13 水戸ビル 2F

問い合わせ先：welcome@studyvalley.jp

事業内容

TimeTact の開発・運用

STEAMライブラリー（経済産業省）の構築・運用



外部認証



AWS EdStartに採択
(日本で2社目)



Googleテックパートナー
認証取得済



国際規格セキュリティ
認証取得済

STEAMライブラリーの開発・構築および保守・運用を担当
日本のEdTech企業で唯一「東洋経済」すごいベンチャー100に選出

